

平成 24 年 6 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社豆蔵 OS ホールディングス

代表者名 代表取締役社長 荻原 紀男

(コード番号 3756 東証マザーズ)

問合せ先 IR 担当

(TEL. 03-5339-2100)

当社グループの株式会社豆蔵による

会津大学との人材育成に関する連携協力基本協定の締結のお知らせ

株式会社豆蔵 OS ホールディングスの子会社である株式会社豆蔵が、東日本大震災からの復興を推進・支援するための IT 人材育成に関する連携協力基本協定会津大学と締結いたしましたのでお知らせいたします。

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以上



報道機関各位

2012 年 6 月 18 日
公立大学法人会津大学
株式会社豆蔵

会津大学と（株）豆蔵 東日本大震災からの復興を推進・支援するための 人材育成に関する連携協力基本協定を締結

このたび、会津大学と（株）豆蔵は、連携協力基本協定を締結し、東日本大震災からの復興を推進・支援するための IT 人材育成に関する具体的な施策の実現に向けて取り組むこととなりました。

会津大学では、IT の専門大学としての特徴を活かし、昨年 12 月 28 日に策定された「福島県復興計画（第 1 次）」及び同日県より示された「会津大学次期中期目標（6 か年）」を踏まえ「会津大学復興支援センター（仮称）」を設置し、東日本大震災からの確実な復興を支援することを既に発表しています。同センターを設置することにより「先進 ICT 研究」「IT 人材育成」「産学連携」「国際性」という会津大学の特徴を活かした復興関連事業を県内外の大手 IT 関連企業や会津大学発ベンチャー企業等と連携して、積極的に推進する方針です。これにより新産業の創出を図るとともに、会津地域はもとより県内への IT 関連企業の集積を促し、雇用創出としての IT 人材等の育成や新たな産業創出、産業集積に向けた取組みを進めることは、東日本大震災からの復興に向けた力強い歩みになると考えています。

（株）豆蔵は、「福島 高度 IT 人材育成センター（仮称）」を会津若松市に設置する予定で準備しています。これにより、今後、福島において高度 IT 人材育成関連事業や大学関連の支援、各種の研究活動を行える体制を整えます。（株）豆蔵は、これまでの IT 人材育成に関する事業や活動による実績や知見をベースにして、会津大学のさらなる発展や、地域の復興や振興に寄与する支援を行っていきます。

今回の会津大学と（株）豆蔵との連携協力は、これらの両者の取り組みの一環であり、地域経済社会や日本の産業活性化に貢献する人材を育成していくためのものです。今後、会津大学と（株）豆蔵においては、以下のテーマについて連携協力しながら「会津大学復興支援センター（仮称）」事業の取り組みを進めていきます。

1. リカレント/コンカレント教育による IT 関連産業等の人材育成

- 会津大学と（株）豆蔵は、「会津大学復興支援センター（仮称）」におけるリカレント（社会人向け）/コンカレント（学生向け）教育のカリキュラム・評価方法の策定、教育の実施、能力認定資格等の検討を共同で行います。
このリカレント/コンカレント教育では、社会人や学生など幅広い学習者を対象に、IT 関連産業への就労に直結し社会的ニーズがあるテーマを取り扱います。
- リカレント/コンカレント教育の実施にあたり、（株）豆蔵は、官公庁や企業における数多くの実績による知見を活用して
 - － 事前・事後学習のための遠隔教育における支援
 - － 講師の育成・派遣やイベントの企画・実施の支援
 - － 教育手法等に応じた教室空間・設備などの検討を行います。

2. 産学連携した実践的教育コミュニティの推進

- 会津大学と（株）豆蔵は、クラウドやモバイルの普及により対応が求められているソフトウェアテストに関して、産業の場で実践できるテスト設計者・テストマネージャー・テスター・指導者等の幅広い人材育成について共同で取り組みます。
- 会津大学と（株）豆蔵は、ソフトウェア市場のグローバル化に対応した海外進出ワークショップの研究など、海外ビジネスの現場における実践的な知識を習得するための人材育成について共同で取り組みます。

会津大学と（株）豆蔵は、お互いの IT と人材育成に関する実績や知見を融合させ、日本の復興・成長に寄与できる人材教育を目指していきます。

以上

【本件に関する問い合わせ先】

公立大学法人 会津大学 事務局 企画連携課

電話 0242-37-2547（課長：引地）

電話 0242-37-2605（担当：伊藤）

株式会社豆蔵 営業管理部

電話 03-5339-2114（部長：渡辺）